

せんだい社協 ニューズレター

2026年9月16日 No.4

皆様からいただいた
ご寄附を活用した取り組みを
ご紹介します

発行:社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
TEL022-223-2010(代表)

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-6-10
アースブルー EARTH BLUE仙台勾当台 7F

改修工事により仮事務所に
移転しています

ボランティア活動の輪を広げるために

皆様からお寄せいただいたご寄附は、地域福祉を推進する様々な取り組みに活用されています。
今回は、本会の若林区ボランティアセンターの「高校生・大学生のボランティア場づくり事業」をご紹介します。

活用事例

高校生・大学生のボランティア 場づくり事業（愛称:ぷらボラ!）



大学生を中心に、ボランティア講座や活動プログラムの企画を行います。

東日本大震災後、大学生がボランティアとして地域で活動する機会が増えたことから、若林区ボランティアセンターでは、地域と学生の活動をコーディネートするなど、支援を行ってきました。この事業は、大学生が中心となって、高校生が地域で活動する機会を創り出すとともに、新たな地域福祉活動の担い手育成につなげることを目指しています。そのため、「地域を知る」「ボランティア活動の輪を広げる」「必要な知識や社会性を身につける（キャリア）」といった視点を大切にしながら取り組んでいます。

高校生を対象とした説明会（ボラプチ講座）

6月に2回開催した説明会では、これからボランティア活動を始めようとする高校生に、3つの大学ボランティア団体がそれぞれの活動内容を紹介しました。また、初めて活動に参加する際の注意事項などを説明し、まずは気軽に参加できる活動への参加を呼びかけました。後半にはグループに分かれてフリートークを行い、高校生から寄せられたさまざまな質問に大学生が一つひとつ答えることで、活動内容をイメージできる機会となりました。



ボランティア団体ごとに普段の活動を紹介。
（6月23日仙台東高等学校会場）



今回は 1 年生の参加が多く、これからの活動に向けて質問が出ていました。

参加した高校生からは、「今までボランティアはハードルが高いと思っていたが、そんなに高くないものだとなった」「大学生の方と話して、ボランティアの魅力に改めて気づけた」「高校生と大学生のボランティアでは全く規模感が違うと思った！大学生になれば活動範囲が広がったり、より濃い内容の活動を長期的にできると思うとわくわくする」など、ボランティア活動への関心や、今後の活動に前向きな声が寄せられました。(アンケートより)

高校生と一緒にサロン活動を実施

7 月からは早速、高校生が各ボランティア団体の活動に分かれて参加しました。

ボランティアサークル「東北大学たなぼた」は、日頃から大和町市営住宅のサロン活動に協力しています。8 月に開催されたサロンには、高校生も参加しました。この日はカードゲームを行うため、開催前に机を並べ替え、簡単に打ち合わせを行いました。サロン活動が始まると、カードを配ったり、後半に行った「絵しりとり」の進行をサポートしたりしながら、地域の方々と交流を深めました。

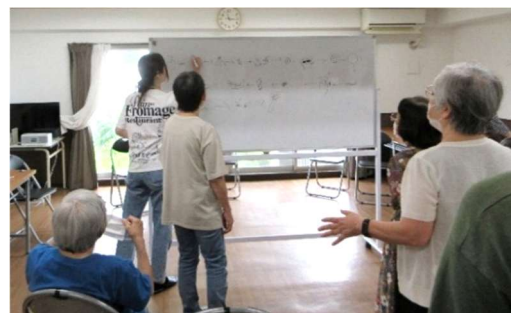
参加した地域の方々からは、「先月は七夕飾りを作っていて静かだったから、今回の企画はとても楽しかった」「ちょっと頭を使うのが良いかな。次もよろしくね」といった声が聞かれ好評でした。

参加した高校生の H さんからは「地域でサロン活動をしていると初めて知りました。今日はボランティアで来たのに自分も楽しんでしまいました」といった感想がありました。

高校生にとって、地域の方々と直接交流しながら活動することで、身近な地域で行われている活動を知り、ボランティアの楽しさを実感する機会となりました。



トランプで交流すると始めは硬かった皆の表情も次第に笑顔になっていました。



チーム対抗の絵しりとり。何を書いたか聞くと、笑いが上がっていました。

皆様のご支援に厚くお礼申し上げます

令和 7 年度寄附金 104 件 6,202,059 円

スマホからも寄附できます



仙台市社協は皆様からのご寄附を活用し、今後も地域福祉の推進に向けた支援を行ってまいります。
ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



人をつなぎ、地域をつむぐ
社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会

TEL022-223-2010(代表) FAX022-262-1948

仙台市社協

検索

<https://www.shakyo-sendai.or.jp>

